

新年のご挨拶



一般社団法人日本エレベーター協会
会長 内山 高一

あけましておめでとうございます。

皆様方には、穏やかな新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。旧年中は当協会の活動に格別のご厚情を賜り、誠にありがとうございました。本年も昨年同様、何卒宜しく願い申し上げます。

さて、この一年間の日本経済は、緩やかな回復基調が続く中、株価も堅調に推移し、雇用及び所得環境の改善も続き、今後も緩やかに回復していくことが期待されます。また、インバウンドによる経済効果及び2020年東京オリンピック、パラリンピックの開催に加え、政府による追加経済対策と民間投資の拡大にも期待したいと思えます。

昇降機が担う社会的使命は、その重要性が年々増しており、バリアフリーへの対応だけでなく市民生活や企業活動に不可欠なライフラインとなっております。こうした状況から、お年寄りから子供まで安心してご利用いただけるよう、安全、安心の取組みに対する期待と責務は益々重くなっております。

2017年には、「昇降機の安全、安心の推進」の取組みとして、2015年度に制定されたエレベーターにおける安全装置（調速機、非常止め装置、緩衝器）の日本工業規格（JIS）を製品に適用する活動を2016年に引続き推進してまいりました。更に、国際規格（ISO）に整合した「ロープ式エレベーターの安全要求事項に関するJIS」の制定に向け、原案作成委員会を発足しJISの原案を作成しました。また、法令の制定及び改正に伴い、『昇降機の技術基準の解説 2016年版』（追補版）を発行し、『昇降機遊戯施設 定期検査業務基準書 2017年版』及び『昇降機の適切な維持管理に関する指針の解説』と併せて周知を図りました。安全、安心の周知活動では「エレベーターの日」（11月10日）を中心に全国の鉄道事業者等と連携した活動を推進しました。

2018年は「昇降機の安全、安心」の一層の推進に向けて取組むとともに、従来の活動に加えて定期検査制度等の法令改正に伴う『昇降機技術基準の解説 2016年版』、『昇降機遊戯施設定期検査業務基準書 2017年版』等の改訂及びその周知徹底を図ります。また、エレベーター、エスカレーターの安全利用に向けた周知活動にも年間を通じて推進してまいります。

今後とも、皆様方からの変わらぬご指導とご支援を賜りますよう、よろしく願い申し上げます。最後に、本年が皆様方にとりまして、実り多き年となりますよう心よりお祈り申し上げます。